

会 議 録		令和 7 年 7 月 3 日作成	令和11年 3 月末日廃棄
会議名	京都府福知山警察署協議会（令和 7 年度第 1 回）		
開催日	令和 7 年 6 月 26 日（木曜日）		
時 間	午後 4 時から午後 5 時 40 分までの間（ 100 分）		
場 所	京都府福知山警察署 講堂		
出席者	北村会長、中司副会長、佐竹副会長、片山委員、佐々木委員、大槻委員、 間木委員、澤井委員、松田委員、白波瀬委員、十倉委員 計11人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 交通課長、警備課長、広聴相談係長 計10人		
諮 問 事 項	1 管内の犯罪情勢及び特殊詐欺対策について 2 管内の交通情勢について		
会 議 内 容	1 委嘱状交付 司会 副署長 2 会長及び副会長改選 3 署長挨拶 4 委員自己紹介 5 福知山警察署幹部自己紹介 6 協議 司会 会長 (1) 諮問事項説明 管内の犯罪情勢及び特殊詐欺対策について～生活安全課長 【委員】犯罪情勢の説明の中で特殊詐欺対策についての話があったが、詐欺でよく使われる言葉や、心理的テクニックで警戒されているものがあれば説明願いたい。 【警察】最近ではディープフェイクというものがあり、A I の技術を使って著名人などになりすますことができ、そういったものをきっかけにだまされる方がいるので、新しい技術に対して注意が必要である。 また、「激安」や「絶対儲かる」、「〇万円プレゼントキャンペーン」などの言葉は詐欺の可能性が高いので警戒が必要である。 【委員】実際に警察から直接電話があったり、警察がLINE電話を使用することはあるのか。 【警察】警察から電話があるかどうかについては、事件の関係者であれば当然、警察から連絡することはある。		

会 議
内 容

警察官がLINE電話で連絡することはないので、LINE電話で警察官を名乗った場合は詐欺を疑う必要がある。

【委員】防犯活動などのイベントに来られる方に対する防犯指導のほか、実際に訪問して防犯指導を行っているという説明を受けたが、イベントにも来ない、訪問もされないという人に向けてはどのように対策しているのか。

また、大学生に対してどのような形で防犯活動のボランティアを依頼するのか。

【警察】防犯活動などのイベントや訪問もできない警察とつながりを持っていない方に対しては、行政の方に協力を依頼している。特に、地域の民生委員の方は多数のつながりを持たれているので、駐在所員などにそのような方をつないでいただき防犯活動を実施している。

京都府警察には、大学生に防犯ボランティア活動を依頼して防犯活動を行ってもらっているが、防犯ボランティア活動に携わる大学生にあらゆる機会を通じて活動の存在を広報していただくことが有効である。

【委員】特殊詐欺の説明の中で、固定電話からの被害が出ていたが、SNSやメールなどから特殊詐欺が発生した事例はあるのか。

【警察】SNSやメールを使用した特殊詐欺も発生している。例えば、荷物の配達業者を名乗るメールを受信し、そのメールに添付のURLをクリックしたことにより被害が発生した事例がある。安易にクリックするのではなく、よく確かめて少しでも不審なことがあれば警察に相談することが有効である。

(2) 諮問事項説明

管内の交通情勢について～交通課長

【委員】高齢者や認知症の方は、「まだ運転できる。」などとプライドを持ち、車の免許を返納されないこともあると思うが、どのように免許を返納してもらっているのか。

【警察】免許証の自主返納については警察から無理強いではなく、特に当署管内は公共交通機関が限られているため、移動手段として利用している方が多いのが実態である。

行政機関では、免許を返納された方に対して公共交通機関の割引券を贈呈する制度があるため、警察としてはそのような制度を積極的に案内している。

【委員】交通事故発生状況の中で自転車が当事者となる件数が少なく感じたが、昨今のヘルメット着用義務と関係はあるのか。

【警察】自転車のヘルメット着用は昨年から努力義務化されているものの、まだまだヘルメット着用には抵抗があり着用していない者が多いのが実態であるため、引き続き啓発活動を実施する。

自転車が関係する事故が少ないのは、京都市内と比べて自転車利用者が少ないということもあると思われるが、今回説明したのは負傷がある事故であり、負傷がない事故では自転車が関係する事故は多く取り扱っている。

【委員】令和7年5月末時点の交通事故の死傷者の年齢別で、高齢者の割合が15パーセントと出ているが、これが実態なのか。

会 議 内 容	【警察】今回説明した交通事故状況については人身交通事故の件数である。実際には交通事故に遭ったが病院には行っていない場合や、高齢者自身が起こした交通事故もあるため、高齢者が関わる事故というのは15パーセントよりも多いのが実態である。 7 事務連絡 令和7年度第2回京都府福知山警察署協議会は、協議事項を含めて事務局と調整の上、決定する。 以 上
--------------------	--

第1回京都府福知山警察署協議会の開催状況

